

保健福祉分野における民間活力を活用した社会的事業の開発・普及のための環境整備事業（環境整備事業）

概要

保健福祉分野において、ソーシャル・インパクト・ボンドなど**社会的インパクト投資の枠組みを活用して社会的事業を試行的に実施し**、社会的事業の成果を測定する指標の設定、事業成果に基づく報酬の設定と行政や民間資金等の提供者との契約締結などの環境整備、行政による財政支援の成果指向型への改革等について、その課題や有効性の検証を行う。これを通じて、**保健福祉分野における社会的事業の開発・普及**を目指す。

将来的に目指すもの

事業により生まれる社会的事業の成果を評価する指標を整備し、**社会的事業の成果を透明化**することを通じて、以下の実現を目指す。

- ① 行政の財政支援を成果に基づく仕組みへと転換すること
- ② 社会的事業への民間の融資等を促すこと
- ③ 事業主体が指標に基づいて事業を改善することで、**事業の効果を更に向上**すること

事業分野の例

- ①健康づくり
- ②生活困窮者施策
- ③児童福祉施策
- ④地域コミュニティづくり（地域経済活動の活性化と参加者の健康増進、自立支援等の推進）

事業枠組み・スケジュール

○事業実施のプロセス

- ①コンソーシアム構築
- ②指標・支払テーブル設定
- ③資金調達
- ④事業実施
- ⑤評価と成果による支払
- ⑥指標等の検証

○具体的には、各地域での既存の取組状況を踏まえ、以下の2パターンを想定。ただし、事業採択は年度ごとに行う。

(ア)過去のパイロット事業等により実施環境が整っている地域は、**社会的事業を実施**する。

(イ)新たな地域は、次年度以降の事業実施に向け、コンソーシアム構築等の**環境整備**を行う。

採択事業一覧(平成29年度)

健康づくり

- レセプトデータやAIを活用した受診勧奨による人工透析への移行の予防
- 地域の多職種連携による糖尿病の重症化予防及び糖尿病性腎症による人工透析への移行の予防

児童福祉

- 「リクルート」から「終了後のサポート」までの包括的支援による養育里親の質・量の向上
- フリースクール事業による不登校等の子どもへの学習・生活支援を通じた自立支援

生活困窮者支援

- 引きこもりの若者等へのアウトリーチ支援による就労に向けたステップアップ支援の実施

社会保障と地域社会経済との「循環」

- 農林業等の地域資源を活用した、ハンディキャップのある人々の社会参加・就労支援と、コミュニティ再生
- 農業などの地域資源の活用と多世代の地域住民の参画による地域づくりと、介護予防・自立支援
- 専業主婦や高齢者、耕作放棄地など地域の潜在資源を活用した子育て環境充実と地域活性化
- コミュニティ拠点の整備や耕作放棄地等の活用と、高齢者・障害者の参画による地域活性化と健康寿命の延伸
- 遊休耕作地を活用した認知症高齢者の社会参加と認知症予防